

IV

子ども支援研究グループ

こんなことありませんか？

—子どものサインを見逃さない—

子ども支援研究グループ

<研究員>

西山田小学校	教諭	楫野 良子
桃山台小学校	教諭	越後 よしみ
千里第三小学校	教諭	前田 恵理
竹見台中学校	教諭	森崎 明
竹見台中学校	教諭	栗林 秀明
第五中学校	教諭	山本 直登

目 次

1. はじめに.....	1
2. 研究目的と概要.....	1
3. 経過.....	2
4. 「こんなことありませんか? 」	3
(1) 「 虐待 」	
(2) 「 不登校・登校しぶり 」	
(3) 「 問題行動 」	
(4) 「 いじめ 」	
5. おわりに.....	7

1. はじめに

私たち子ども支援研究グループでは、「学校が直面する課題」を検討し、解決していくことが「子ども支援」につながると考え昨年度より研究してきました。子ども政策室や、子ども家庭センターなど学校関連機関を訪問し研究を進めました。

そして、様々な教育課題に対する「チェックシート」や「問題行動が生起した後の対応」があれば、教職員の児童・生徒を観察・指導する手助けになると考え、ブックレットの作成を検討してきました。

2. 研究目的と概要

(1) 目的

研究テーマは「こんなことはありませんか？～子どものサインを見逃さない～」

「学校が直面する課題」を考えると、現在、小・中学校現場において「教育課題の多様化」、「教職員の年齢バランスの偏り」が考えられます。そして、学校において様々な諸問題が生起した際、「若い教職員の不慣れな対応」や「担任の先生が問題を抱え込むケース」が増えてきています。

そこで、一つの事例の対応に迷う若手教職員でも、豊かな経験を有し、様々な解決方法を知っているベテランの教職員でも、児童・生徒を観察・指導する上で参考となるブックレットの作成。

(2) 方法

「虐待」、「登校しぶり・不登校」、「問題行動」、「いじめ」について取り上げ、「学校生活等で気を配るチェックシート」、「対応・関係機関の活用シート」、「対応の注意点」をまとめる。

- ① 「こんなことはありませんか？」として、子どもたちと接する中で教職員に注意して見てほしい項目を確認。
- ② チャート図を使って、対応の手順や関係機関の連絡先を検討。
- ③ その子どもへの対応として、特に気をつけるべきこと。

全ての教育課題に共通することとして、「報告・連絡・相談」の徹底が非常に重要になります。「問題が生起する前にしておくこと」、「子どものサインを見逃さないこと」、「問題が生起した後での組織的な対応」を各学校でも共通認識が必要です。子どもたちの発達段階や、環境によりその対応は様々であり、次に挙げる手順などは一例に過ぎません。また、関係機関の連絡先・連絡系統も日々変化していることも考えられますので、常日頃からアンテナを高くし、様々な教育関連機関の情報を知ることが大切です。

3. 経過

- (1) 平成24年 4月27日(金) 子ども家庭センター訪問
- (2) 平成24年 5月18日(金) 研究テーマと研究内容について
- (3) 平成24年 6月26日(火) 研究と研究大会発表に向けて
- (4) 平成24年 7月19日(木) 研究と研究大会発表について
- (5) 平成24年 8月 2日(木) 研究と研究大会発表について
- (6) 平成24年 8月24日(金) 研究大会発表について
- (7) 平成24年 8月28日(火) 研究大会発表
- (8) 平成24年 9月25日(火) 研究
- (9) 平成24年10月23日(火) 研究
- (10) 平成24年12月 4日(火) ブックレット作成に向けて
- (11) 平成25年 1月18日(金) ブックレット作成に向けて、紀要について

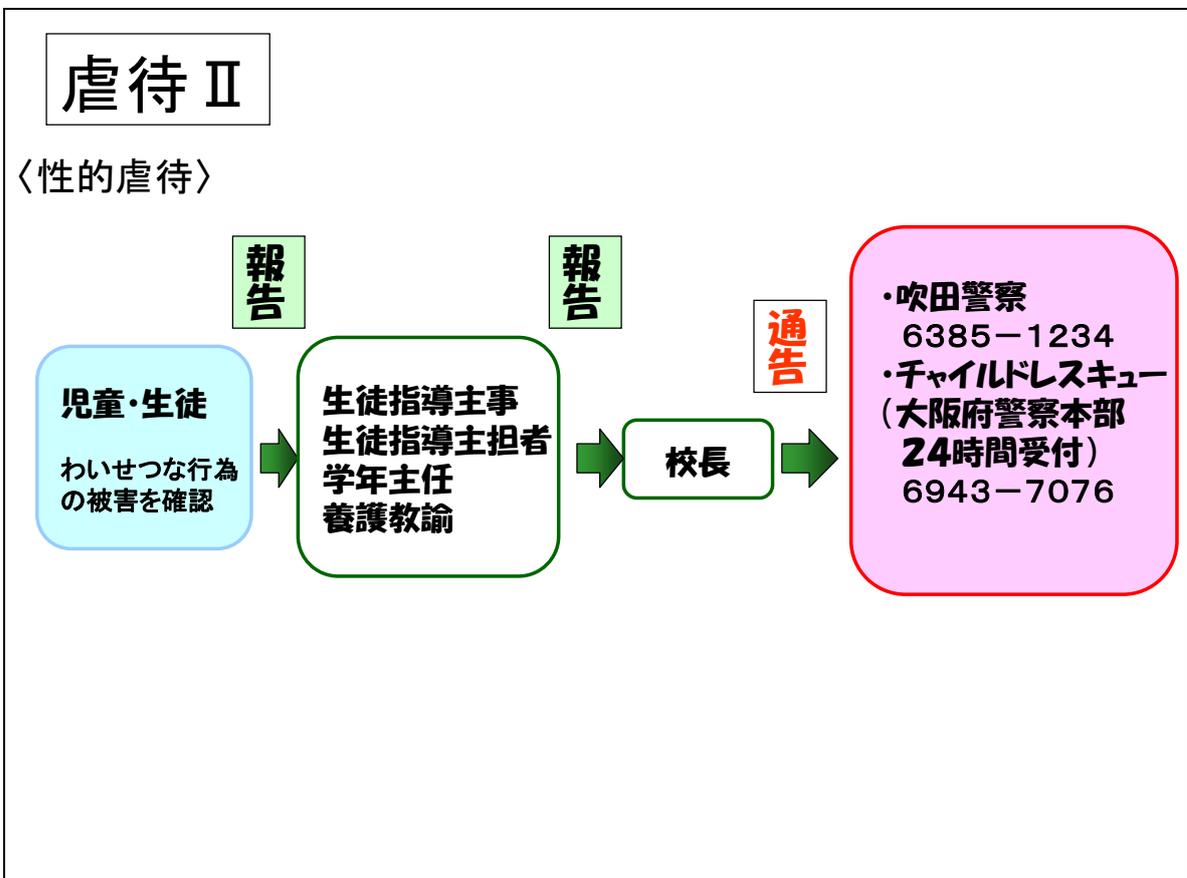
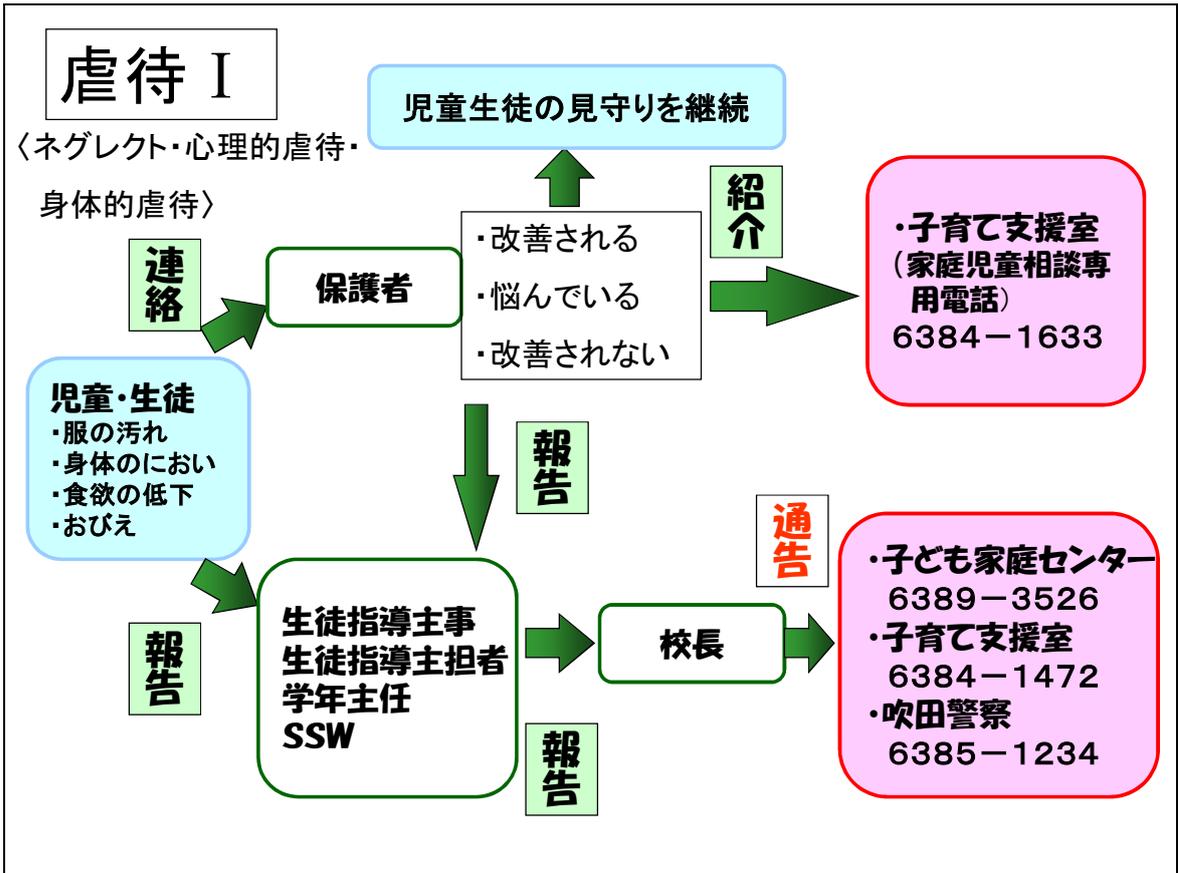
4. 「こんなことはありませんか?～子どものサインを見逃さない～」

(1) 「虐待」

① チェックシート

	項 目	CHECK
①	原因が明らかでない体調不良をしばしば訴える	
②	放課後になって家に帰りたがらなかつたり、家出を繰り返す	
③	スキンシップを過度に求める	
④	自分より年下の子と遊ぶことが多く、時に威圧的である	
⑤	衣服を脱ぐことに異常な不安を見せる	
⑥	授業に集中できず、落ち着きがない	
⑦	学習道具がそろわない	
⑧	給食や弁当などむさぶるように食べる	
⑨	食欲なく給食や弁当などをよく残す	
⑩	子どもが書いた絵に気になる点がある	

② 対応



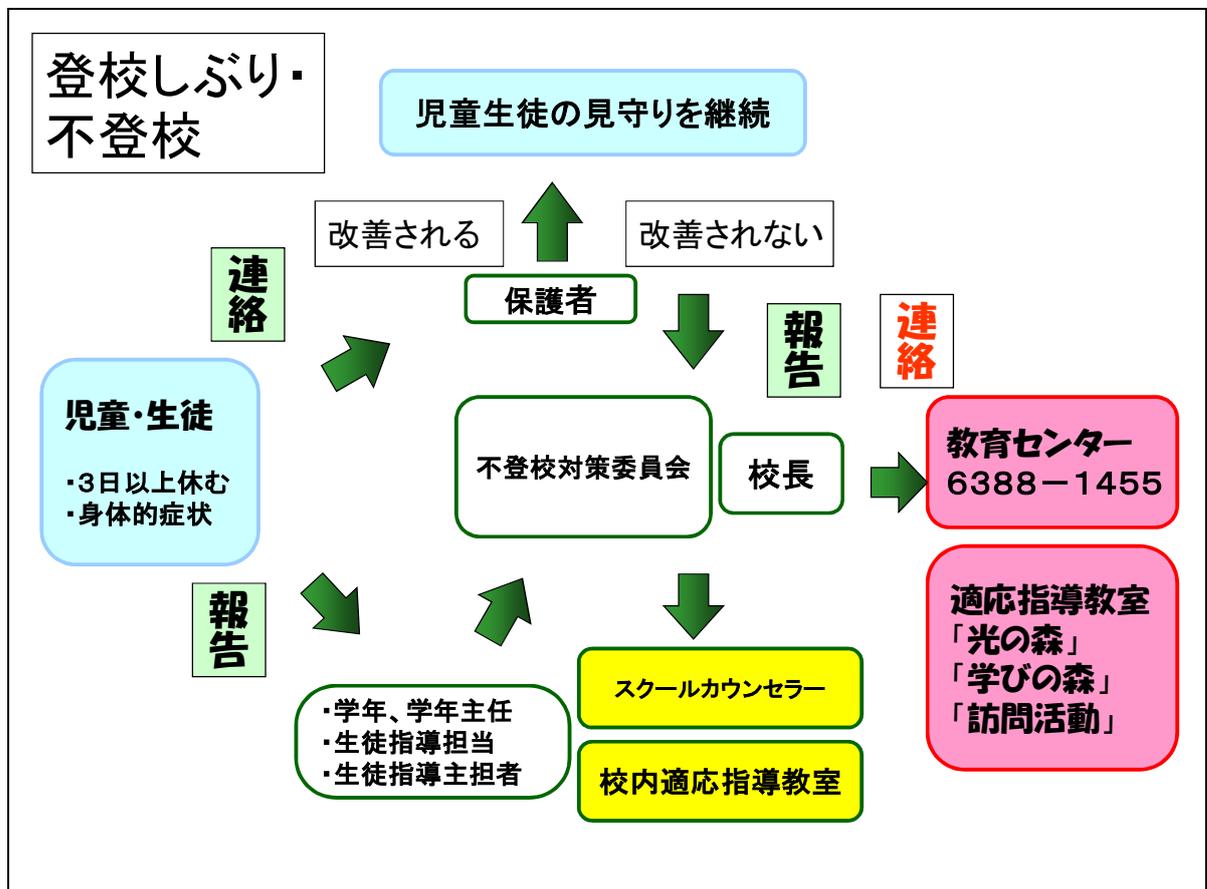
- ③ その子どもへの対応として、特に気をつけるべきこと。
- 受容的な態度で聞き、誘導的な質問や問いつめるような質問はしない。
 - 子どもの行動を表面的に理解しない。
 - 対応の記録を必ず詳しく残しておく。

(2) 「登校しぶり・不登校」

① チェックシート

	項 目	CHECK
①	月に3日以上欠席がある。または、遅刻が目立つ。	
②	頭痛・腹痛などの身体の不調を良く訴える。	
③	遅刻や早退・欠席が多くなった。	
④	認められないと不機嫌になった。	
⑤	自分より下の者にあたり散らしたり、暴力をふるったりしている。	
⑥	他人を必要以上に気にするようになった。	
⑦	保健室や職員室に回数が増えてきた。	
⑧	忘れ物が多く、集中力がなくなった。	
⑨	宿題をしなくなり、成績が下がった。	
⑩	母親に対して甘えが強くなり出たり、逆に反抗的、攻撃的な態度をとったりする。	

② 対応



③ その子どもへの対応として、特に気をつけるべきこと。

○「休む前から対応する」

学年会議などで欠席、学校の様子を報告する。

○「休みはじめに対応する」

月に3日理由が明確でない欠席があると、「不登校の可能性あり」としてすぐに対応を検討する。

○「休んでいる今対応する」

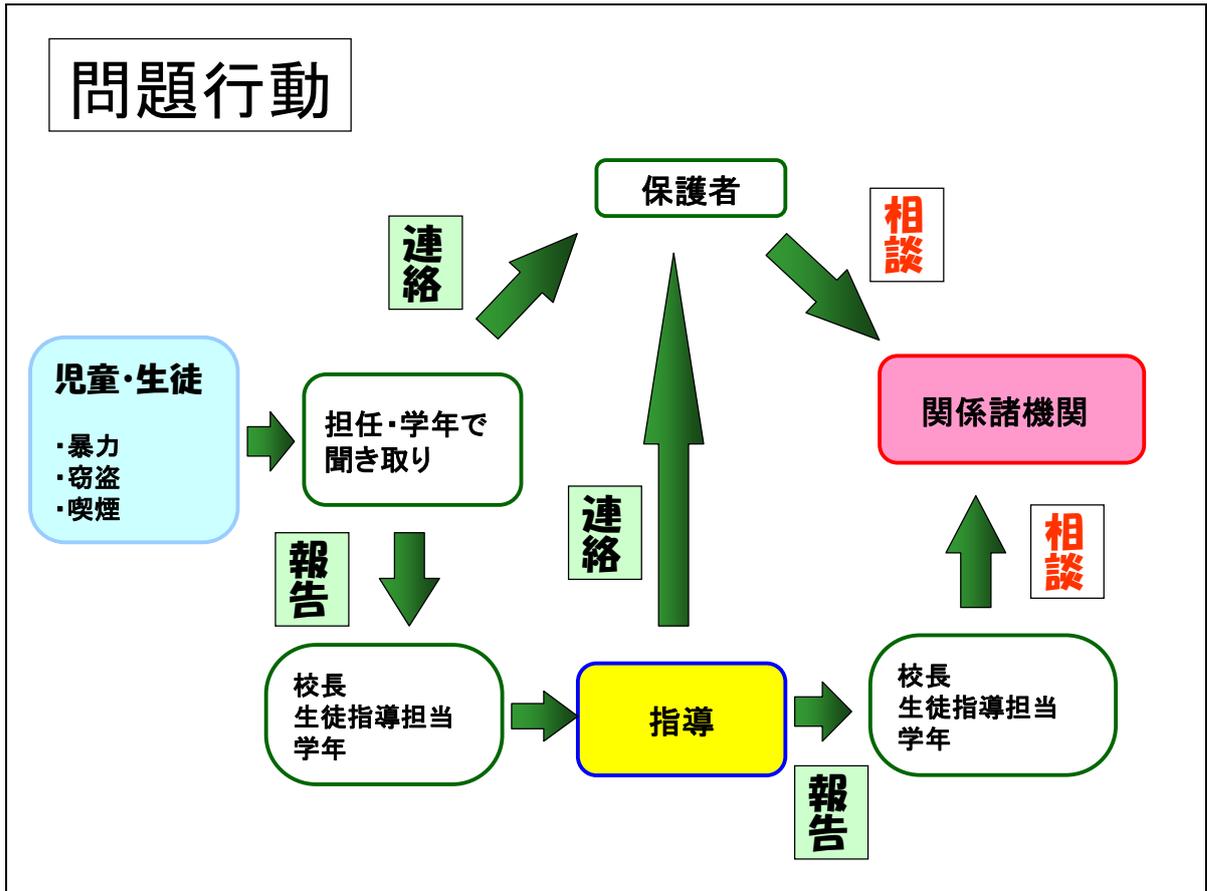
行事への参加を図る。趣味など生かした小集団への参加。SCや教育センターの相談員の活用

(3) 問題行動

① チェックシート

	項 目	CHECK
①	チャイム着席が守れない。	
②	授業に集中できず、姿勢が悪くなってきている。	
③	机上に落書きや、机の周りが汚くなる。	
④	衣服からタバコのおいがする。	
⑤	暴言が増える。	
⑥	自分の持ち物を友だちにあげる。	
⑦	教師の目を気にしたり、教師に隠れて行動する。	
⑧	登校時の遅刻、授業遅刻が増えている。	
⑨	学習意欲が低下している。	
⑩	人間関係が大きく変化している。	

② 対応



③ その子どもへの対応として、特に気をつけるべきこと。

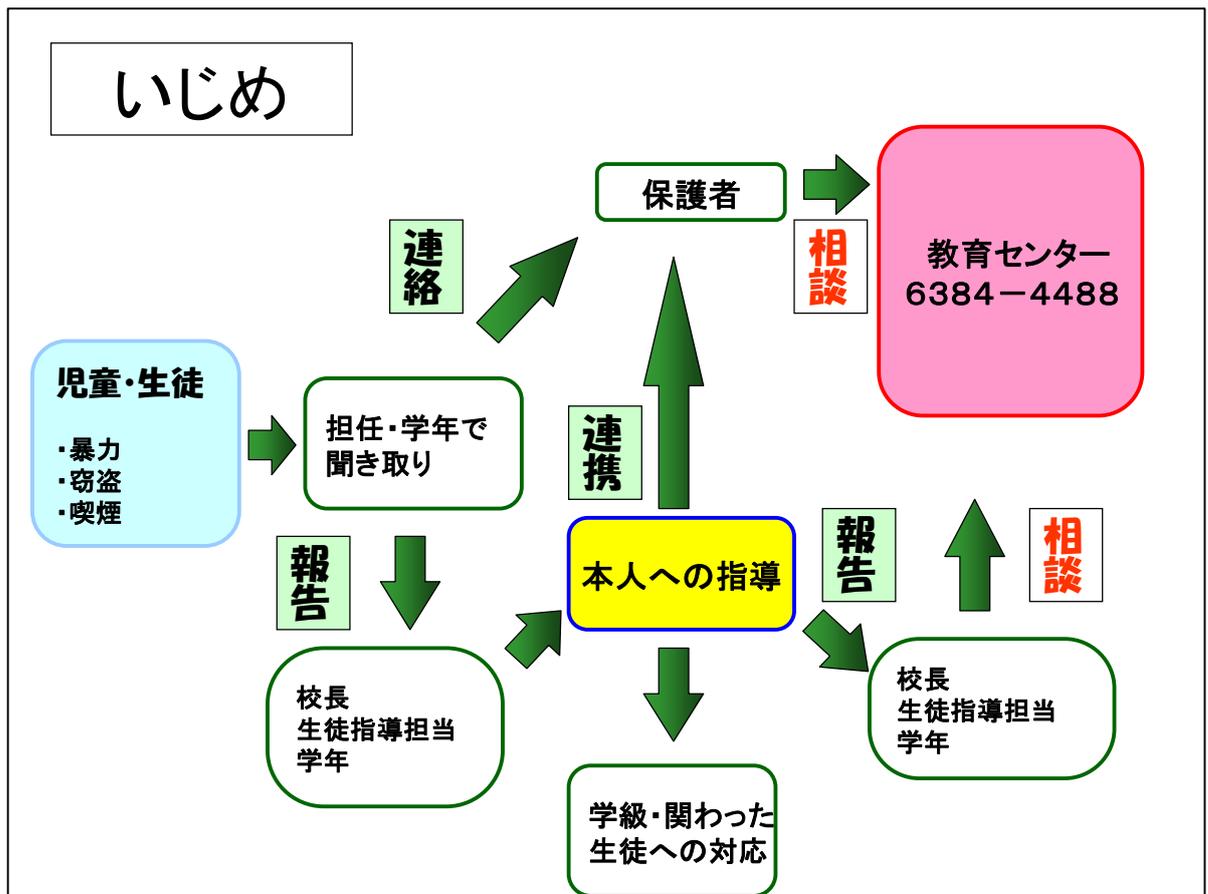
- 学校と家庭、地域、関係機関との連携・協働
- 継続的な指導による規範意識の育成
- 組織的な生徒指導体制の確立
- 「発達課題」などその子の特性を踏まえたアプローチ、支援の検討

(4) いじめ

① チェックシート

	項 目	CHECK
①	表情が暗く、挨拶の声が小さい。	
②	話しかけても目を合わせようとせず、いつもおどおどしている。	
③	発表を笑われたり、からかわれたりしている。	
④	教科書やノートに落書きが多く見られる。	
⑤	呼び捨てやあだ名で呼ばれることが多い。	
⑥	職員室や保健室に出入りすることが多い。	
⑦	周囲の友だちより教師との関わりが多い。	
⑧	準備やあと片付けなど、仕事を押しつけられることが多い。	
⑨	一人で帰ることが多い。	
⑩	上履きなど物がなくなることもある。	

② 対応



③ その子どもへの対応として、特に気をつけるべきこと。

○いじめられている子どもを励ましたり、否定するのではなく、子どもの気持ちを受け止め、心に寄り添うようにする。まずは、共感をする。

○〔NGワード〕

「がんばれ」「だいじょうぶ」「気にするな」「あなたが〇〇したからね」

5. 終わりに

ここに記載している内容は、基本的な動きであり、それぞれの諸問題に対しては、児童・生徒に合わせて柔軟な対応が必要であることは言うまでもありません。児童・生徒の日頃の様子を見守るとき、「なぜこんな行動をするのだろうか？」と教師が気付くことが何より大切です。多くの教職員で、学校生活において子どもからのサインを見逃さず、一番良い支援の方法を組織で考え、対応していくことが肝心です。個人で出来ること組織でできることなどを分類し、日頃の情報を共有しておくことが最も重要です。風通しの良い職場環境の充実を目指しましょう。

毎日の学校生活での気づきが、多くの問題行動や課題を未然に防ぎ、解決していくことにつながります。日々、子どもたちと向かい合い、寄り添い、見守り、育てていけるよう邁進していきましょう。